

# verde

「verde」とは、ポルトガル語で「緑の」という意味です。



## ベルジ箕輪

ベルジ株式会社 有料老人ホーム ベルジ箕輪  
発行責任者 総支配人 守田 昌史  
支配人 高木 正幸

〒370-3104 群馬県高崎市箕郷町上芝 839-4  
Tel 027-371-6610 / Fax027-371-6613  
E-mail [minowa@e-verde.co.jp](mailto:minowa@e-verde.co.jp)  
URL <http://www.e-verde.co.jp>

(ホームページにてブログも更新しております。そちらも是非ご覧ください。)

# 4月の出来事

童謡『こいのぼり』がこの時期になると脳裏に浮かびます。「おおきいまごいはおとうさん ちいさいひごいは こどもたち」の歌詞には、父親が一家の大黒柱であるという父親への尊敬の念が歌に込められているそうです。緋鯉がお母さんと思っていましたが、歌にはお母さん鯉が居なかったのですね。ちょっぴり切ない話ですが、今はランドセルの色も自由、時代的に黒い鯉がお父さんではなくなってしまうのでしょうか。



## 端午の節句

新聞で兜を作り、五月の節句を楽しみました。端午の節句飾りには、男の子が病気や事故などの災厄を逃れ、力強く成長して欲しいと願いが込められ、身を守るためのお守りとして飾られています。鎧や兜は、家を継ぐ者の大事なお守り、目に見える愛情は分かり易くていいですね。最近では大谷翔平がヒットを打つと兜を被っています。今年は兜がブームになるのでしょうか。

## 藤の花

毎年この季節になると本館には手作りの藤が咲き乱れます。藤は香りもさることながら、パーゴラに枝垂れる花房の美しさが確たる魅力になりますが、その樹齢の長さもまた魅力ですね。足利の樹齢 160 年の大藤はこの季節テレビなどでよくお見かけしますが、古式ゆかしい日本美、それを大事に継承してきた人々、いにしえに想いをはせ、この世に存在する美しさに賛美と拍手。「花はいいね」



## 兜と鯉のぼり

段ボールアート第二弾は兜と鯉のぼり。兜は群馬に縁のある真田の兜を製作。千切った折紙をでんぷん糊で貼りつけ「そうそう、この糊が良いのよ」と皆さま。お米をすり潰したようなでんぷん糊が懐かしく、夢中になって作業していたら真っ赤になった兜を見て「大谷翔平のヘルメットみたい(笑)」「それもいいですね！」方向転換するかどうか悩みます。独創的な鯉との相性は…。さて仕上げはどちらにしましょうか。

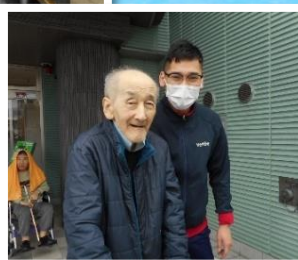


# 春の健康診断



ご入居者様ならびに職員の健康診断週間の始まり、レントゲン車の登場。皆さまいつもと違う雰囲気、意気揚々。乗り込む前からお腹を出し、技師さまに「中に入ってからですよ」と言われ「そっか（笑）」と茶目っ気ある一面も。その様子に安堵する時間でもありました。

レントゲン車の中はまるで秘密基地。広くはない車内に珍しい機械。出入口をくぐり冒険気分でニンマリ顔。少年少女の顔を覗かせ、なんだか楽しそう。



財団の方に何うと、やはり昔は精度が悪かったので、お腹を出して写真をとったのだとか。今はお洋服のまま撮れるので随分楽になりました。とのお話。



身長・体重・血圧など測定。談笑しながらも、様子を観察。会話で反応や、声の発し方、ろれつ、記憶、様々なことを診ることができます。普段から見ているからこそ気付ける違和感。違和感が気のせいで済めば御の字、場合によっては緊急受診になることもあります。看護師の「思いやり」も健康を守るツールです。

# 春のイメチェン

春になると新生活が始まったり、新しい環境になったり、見た目をガラッと変えてみたくなる季節です。ベルジ箕輪の皆さまもお髪を切りたいとご予約が殺到しました。お髪がスツキリすると皆さまお顔が明るくなりますが、中にはパーマやカラーをして本格的なイメチェンをされる方もいらっしゃいます。おしゃれはいくつになっても心の活性剤。また、髪を切ると邪気が払われるといえます。



# 春キャベツ



先月の桜に続き、今月は旬のキャベツをおはながみで制作、色のコントラストを試行錯誤。試作を繰り返した結果、わかくさ、うぐいす、みどり、あおみどり、しろの組み合わせで、ふんわり柔らかな春のキャベツが完成「キレイね」と色彩に感動の皆さま。竹ザルにのせて「キャベツでしょ(笑)」と差し出すと「ほんと、キャベツだわねえ」と皆さま(^\_^)

# みのわ情報

## ◆ 春の献立(春キャベツ)

キャベツと  
イワン伍の旨煮



キャベツとベーコン  
のスパゲティ

農林水産省より公開されたキャベツ収穫量が多い都道府県1位の「群馬県」春のみずみずしく甘いキャベツは、施設の付近にある畑でも収穫されています。地野菜の旬なものは、旬の時期に食べることでその時期の身体に必要な栄養素をとることができる最強の食べ物です。キャベツは、浅漬け・サラダ・回鍋肉、和・洋・中と多才、キャベツとベーコンのスパゲティは柔らかく甘い春キャベツならではの、春の御馳走です。

## ◆ 新入職紹介

職種 ＊ 事務職 関上 奈都代(せきがみ なつよ)

幸せなひと時 ＊ 美味しいものを食べる時ですが、中でも乃がみの生食パンを厚切りにして、たっぷりのハチミツをかけて頂く時です。

最近気になっていること ＊ 大谷翔平選手の活躍。格好いいですね。

ひと言 ＊ 入職したばかりで緊張気味の私に、皆さんが「新人さん？」と優しく声を掛けてくださり、とても嬉しかったです。1日も早く皆さんのお役に立てるよう精一杯頑張ります。



## 編集後記

先日、全国有料老人ホーム協会様の冊子に文章を掲載していただく機会をいただき、ベルジ箕輪の歴史を知る為に35年の歴史が詰まった記念誌のページをめくってみました。ベルジの始まりのはじまりは電気事業。会社が大きくなるにつれ、縁あってシルバー産業に足を踏み入れることになったそう。人とのつながり、ご縁を強く意識したことから「ありがとう」と言ってもらえる企業に。という経営理念が掲げられました。ベルジ箕輪が産声を上げたのは1988年、当時大変珍しかった温泉施設からの転身でした。地域に根付いたサービス、又、「おもてなし」の心、サービス精神を徹底的に学ばせたと綴ってありました。改めてルーツを知り、よく歴史を知るとモノの見方が変わると言いますが、さらに深くにある経営理念の真意に触れたような気がしました。とかく介護は「やってあげている」と驕ってしまいがちです。サービス業の精神は「思いやり」だけでは足りません。察する能力が大事。心の内はどうやっても見えることはできません。ですがアンテナを持っているだけで、その近くに手を伸ばすことは出来る。それでも触れられないもどかしさに心が折れたら、仲間の手を握り助けてもらえばいい。手は繋ぐことができる。手は支えることもできる。手は伝えることもできる。それが介護の「思いやり」かもしれない。「ありがとう」は湧き出づる温泉の如く、すべてに温かく沁みわたる。誰にも平等に。